

2019 年 12 月 16 日

株式会社フィスコ (3807 JASDAQ)

---

## ペーパーロジック社との企業文書デジタル化サービス提供に関する 業務提携のお知らせ

---

株式会社フィスコ(JASDAQ 上場、証券コード「3807」、本社:東京都港区、代表取締役社長:狩野 仁志、以下、「フィスコ」とペーパーロジック株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役:横山 公一、以下、「ペーパーロジック」)は、ペーパーロジックが開発・提供している企業文書をデジタル化するクラウドサービス『paperlogic(R)』を日本国内において展開していく包括的な販売パートナー契約を締結いたしましたので、お知らせします。

“ペーパーレス化”と叫ばれ数年が経ち、法規制緩和などペーパーレス化を後押しする流れはあるものの、印紙税を削減できるという直接的なメリットのある電子契約ですらなかなか認知が進んでいません。一方では企業の経理・総務・法務の領域では、契約書をはじめ文書のデジタル化を後押しする法規制緩和、また行政の領域においても、本年 5 月に行政手続きを原則、電子申請に統一するデジタルファースト法が成立し、文書やサービスをデジタル化する流れが加速しています。2017 年からはメガバンクの電子契約導入も相次ぎ、不動産分野のデジタル化検証も進んできています。

国内においては、もともと低い労働生産性に加え、少子高齢化も重なり、労働生産性の向上が急務になっています。働き方改革による労働時間の減少も考慮すれば、早急に効率性を最低でも 1.5 倍にしなければ現状を維持できないという試算(労働人口が 1,300 万人減、残業ゼロなどが前提)もあります。「働き方改革」や「生産性改善」といった社会的な背景のもと、改めてこの電子化の動きが加速していくものと想定されます。

なお、日本製紙連合会によれば、2018 年では、年間の印刷・情報用紙の需要量は 801 万 9,000 トンにも及び、また、経団連の試算によれば、民間企業は紙の税務書類の保存に年間 3,000 億円、一般社団法人日本 CFO 協会の試算では、領収書等国税関係書類の糊付けファイリング等人件費に年間 6,000 億円もコストがかかっています。全てとはいかずとも、これだけ膨大な量のうちいくらかが電子化されれば、まずはこうした保管コストをかなりの部分節約することができます。また、検索が容易になることで情報管理にかかる時間的なコストも確実に短縮、そうなれば、日々の労働者の業務効率も上がり、そうして積み重なった企業全体の生産性の改善は企業価値の向上に大いに寄与すると考えられます。





企業文書のデジタル化においては、

- (1) 検索性を高めることによる生産性向上
- (2) デジタル情報の分析性を高めることによる利活用
- (3) 機密情報管理における内部統制の強化
- (4) 承認プロセスのデジタル化によるコンプライアンスの強化
- (5) 印紙税やプリンタの稼働、紙での流通コスト、保管コスト等の経費削減

等の大きなメリットがある一方、現実的な問題として、多数存在するビジネス文書デジタル化の保存要件の整理・実装やビジネス文書の帳票棚卸、それに伴うデジタル化プランの策定・実行、税務関係の各種申請等、これら全てをカバーできる専門家がいなかったため、企業のデジタル化が進んでいないという現状があります。

ペーパーロジックは公認会計士、税理士、弁護士、行政書士を擁し、それらの知見を活かす専門家集団として、法的要件を満たしたシステムを構築して提供しています。同社の『paperlogic(R)』を活用すれば、単なるペーパーレス化ではなく、法定要件も踏まえた企業文書のデジタル化を推進できるだけでなく、ペーパーやインク、印刷機器の不使用による環境負荷の低減、文書処理スピードの向上による業務効率向上と働き方改革の推進、コンプライアンスやリスク管理を含めたガバナンスの向上など、ESGに関わる長期的な経営基盤の整備にも寄与します。

### paperlogic(R)サービスラインナップ

		サービス名称	説明	期待できる効果	
電子 認証 基盤	織内取引	電子 ワークフロー	 電子稟議 (ワークフロー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークフローにて稟議・申請業務を電子化</li> <li>・ 電子帳簿保存法・e文書法対応(文書の電子化)も、ワークフローにてルール設定を行うことで、現場対応可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務効率化</li> <li>・ 内部統制強化</li> <li>・ 文書情報電子化</li> </ul>
	織外取引	電子契約	 電子契約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙ベースの契約をWebプラットフォームで行う。</li> <li>・ 電子署名法に対応し、真正性の高い契約締結が可能。</li> <li>・ また、使い勝手を重視した「電子サイン版」も提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約書の電子化</li> <li>・ コスト削減(印紙税等)</li> <li>・ 契約業務の効率化</li> </ul>
	組織内取引	ストレージ	 電子書庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ e文書法対応のデータストレージ</li> <li>・ 署名の有効性確認/高い検索性等</li> <li>・ ユーザー/非ユーザーに対して文書/フォルダ単位でのアクセス制限の設定が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文書情報セキュリティ向上</li> <li>・ 文書情報電子化対応</li> </ul>
	他社連携	Module	 ESG Tech module	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的要件を充足機能、内部統制強化機能を他社ワークフローや電子契約サービス等にAPIにより提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Switchingコストかけずに法的要件充足、内部統制強化が図れる</li> </ul>

paperlogic を採用することで、社内外にある取引並びに業務文書を、作成・受領 から、保管・管理、廃棄に至るまでの「ライフサイクル管理」を全て電子データとして行うことが実現可能です。



## News Release

本業務提携においてフィスコでは、主に中小型の成長力のある弊社顧客企業約 500 社を中心に、これまでの情報配信や IR 活動支援に加えて、ペーパーロジックが開発・提供する企業文書デジタル化クラウドサービス『paperlogic(R)』を提供することを契機に、企業がデータやデジタル技術を駆使して、ビジネスに関わるすべての事象に変革をもたらすための、企業活動におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)による競争上の優位性を確立することを支援してまいります。

### 【株式会社フィスコの概要】

会社名: 株式会社フィスコ <http://www.fisco.co.jp/>

所在地: 東京都港区南青山五丁目 4 番 30 号

設立日: 1995 年 5 月 15 日

資本金: 100 百万円(2019 年 7 月 1 日現在)

代表者: 代表取締役社長 狩野 仁志

事業内容: 金融機関、投資家、上場企業を支援する各種情報サービスの提供

### 【ペーパーロジック 株式会社の概要】

会社名: ペーパーロジック株式会社 <https://paperlogic.co.jp>

所在地: 東京都品川区東五反田一丁目 6 番 3 号 いちご東五反田ビル 3 階

設立日: 2011 年 4 月 27 日

資本金: 金 9 億 7,727 万 5 千円(2019 年 6 月 18 日現在)

代表者: 代表取締役社長 兼 CEO 横山 公一

事業内容: 企業のバックオフィス全般におけるデジタル化に関する法律・会計コンサルティング及びデジタル化を実現するクラウド型ソリューションを開発・販売

以 上